

手足口病が流行警報レベルに達しました！！

和歌山市感染症発生動向調査において、令和6年第23週（6/3～9）の手足口病の定点あたり患者数が6.22となり、流行警報レベルの開始基準値5.0を超えました。終息基準値2.0を下回るまで警報レベルが継続します。

手足口病は例年、夏季に流行するウイルス感染症ですが、今年は全国的により早い時期から流行しています。和歌山市でも同様に2年半ぶりに、警報レベルを超えて流行しています。

本疾患はコクサッキーA16（CA16）、コクサッキーA6（CA6）、エンテロウイルス71（EV71）などのエンテロウイルスが原因の感染症です。基本的に予後は良好な疾患ですが、急性髄膜炎の合併が時に見られ、稀に急性脳炎を生ずることもあります。

現在市内で流行している病原体を調査中です。現時点で重症例の報告は受けていませんが、EV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られています。重症例がみられた場合は、和歌山市保健所まで情報提供をお願いします。

また、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策をご指導いただくとともに、今後のサーベイランスの動向にご留意下さい。

■今シーズンの状況（手足口病サーベイ）

週数	報告数(市)	定点当り(市)	定点当り(全国)
19週	13	1.44	0.99
20週	15	1.67	1.49
21週	37	4.11	2.13
22週	33	3.67	3.01
23週	56	6.22	4.34

■手足口病患者報告数報告数（手足口病定点報告）過去4シーズン

